

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート			
事務事業名	道路維持管理事業（政策）							事業類型	補助事業		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			08	02	01	03	政策経費				
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり							総合計画対象	対象		
	第2節 交通基盤の充実							市民協働	行政主体		
	[1] 道路・交通							担当課係等	道路建設課		
3 生活に身近な道路の整備							管理係				
事業期間	期間限定複数年度（平成27年度～平成35年度）										

現状把握の部（D0）

【目的】	限られた予算の中、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの縮減を行うことを目的とする。			【関連事業】	
【期待される効果】	次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができる。			【対象者】	市道及び橋梁利用者
【全体概要】	本事業は、市が管理する道路・水路・排水路等の維持管理を目的としており、主な内容は、舗装等の維持補修工事及び雨水排水を処理する側溝内の機能維持するための側溝清掃、境界確認、狭隘箇所・見通しの悪い箇所・通学路の道路路側草刈、道路台帳補正、立竹木伐採等の業務委託、更に砕石等の原材料購入がある。			【特記事項】	○平成25年度橋梁長寿命化策定計画に基づき、計画的に17橋を修繕する。（境橋・1020橋・0057橋・2003橋・松延橋・下志筑橋・西田橋・安笠橋・四万騎橋・飯田橋・新山橋・十三橋・要害橋・中根橋・殿内橋・堰下橋・稲荷橋） ○5年に1回の道路橋梁定期点検義務を、平成28年度より計画的に市内の2m以上の橋梁155橋について実施。 ※防災安全交付金（補助率55%）を活用する。
【平成25年度 事業内容】	橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画を策定する。		【平成26年度 事業内容】	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、次年度から実施される設計業務委託の交付金申請を行う。 舗装新設工事を実施する。	
	【平成27年度 事業内容】		橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	14,316	0	3,930
	県支出金	0	0	0
	自主財源	17,016	808	4,220
	歳入計（千円）	31,332	808	8,150
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	26,030	0	7,150
	15 工事請負費	5,302	808	1,000
歳出計（千円）（A）		31,332	808	8,150
（参考）		当初予算額	100,840	伸び率(%) 決 908.6 予 -91.9
職員人工数		0.70	0.50	2.10
職員人件費（B）		5,642	3,857	16,695
総事業費（A）＋（B）		36,974	4,665	24,845

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	橋梁補修計画実行件数	橋	目標	0.00	0.00	6.00
	長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修設計・工事件数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	補修計画実施件数	橋	目標	0.00	0.00	6.00
	補修設計・工事実施件数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 目的との整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画的かつ予防的に橋梁の点検を行うことにより、道路交通安全性と維持管理コスト削減が図れる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 橋梁ごとの修繕に適した設計や最新の工法で実施していく。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 橋梁の安全性が確保できないことにより、道路交通に支障が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 公道に架かる橋梁の点検や修繕であるため、他事業との連携は難しい。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 公道に架かる橋梁の点検作業や長寿命化修繕計画に基づく修繕作業が増えてくるため事業費・人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公道に架かる橋梁の点検や修繕であり、公平・公正に実施している。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	最善な方法で事業を実施しているが、状況に合わせ、その都度見直しを行っていく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 寺田茂孝 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の長寿命化を図りコストの削減に努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 渡辺泰二 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 一次評価を遵守すること。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート				
事務事業名	市道整備事業（政策）							事業類型	補助事業			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			08	02	02	05	政策経費					
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり							総合計画対象	対象			
	第2節 交通基盤の充実							市民協働	行政主体			
	[1] 道路・交通							担当課係等	道路建設課			
2 幹線道路の整備							工務係					
事業期間	単年度のみ											

現状把握の部 (D0)

【目的】	計画路線及び地区要望路線の整備を行い、道路の安全性の確保と利便性の向上を図る。			【関連事業】	
【期待される効果】	車両通行及び歩行者等の安全性の確保及び利便性の向上			【対象者】	市道利用者
【全体概要】	行政区長要望及び計画路線整備または通学路整備等を主にやっている。要望路線、計画路線区域については、用地取得により早急に整備する必要がある。また、通学路については各関係機関と合同点検等を実施し、安心で安全な整備が早急に必要である。舗装補修工事については、幹線道路を継続的に補修します。排水整備工事については、冠水・滞水箇所の整備をします。			【特記事項】	○防災安全社会資本整備交付金事業（国補助率55%） ○安心安全な生活道路整備市町村補助金事業（県補助率23.3%）
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】		【平成27年度 事業内容】		
<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 舗装新設工事 舗装補修工事 排水整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 舗装新設工事 舗装補修工事 排水整備工事 		<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 舗装新設工事 舗装補修工事 排水整備工事 		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	158,934	32,591	57,110
	県支出金	4,990	4,660	6,150
	自主財源	200,669	282,884	210,522
歳入計（千円）		364,593	320,135	273,782
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	23,604	19,736	16,231
	15 工事請負費	311,199	276,914	218,750
	16 原材料費	280	280	310
	17 公有財産購入費	15,974	2,690	19,832
	22 補償、補填及び賠償金	13,536	20,515	18,659
歳出計（千円）（A）		364,593	320,135	273,782
（参考）		当初予算額 0	当初予算額 302,099	伸び率(%) 決 -14.4 予 -9.37
職員人工数		3.90	3.70	4.20
職員人件費（B）		31,434	28,539	33,390
総事業費（A）＋（B）		396,027	348,674	307,172

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	整備延長	m	目標	3,050.00	3,850.00	4,655.00
	工事施工延長		実績	4,160.00	5,934.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	整備率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	整備延長／計画延長		実績	136.40	154.10	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 目的との整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画路線及び地区要望路線の道路整備・排水整備を計画的に行うことにより、交通基盤の充実、且つ、近隣住民の安心安全が図れる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助事業の補助内定率が年々低下しているため、整備事業費の取得には限界がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地区要望路線及び通学路整備が主であり、安心して安全な道路整備が求められている。また、冠水、滞水箇所の改善のための排水整備も強く求められている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 交通基盤の整備及び排水整備であるため、上記のとおり妥当である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 補助事業の補助内定率は低下しているが、地区要望については年々増え続けているため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画路線及び地区要望路線を整理し、各地区との平準性を考え計画的に実施しているため公平である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	計画路線及び地元要望路線を整理し優先度の高い順に整備を実施しているが、最良な工法及び更なるコスト削減を考慮した整備を実施していく。また、補助事業の有効活用を引き続き行っていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：寺田茂孝
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地区要望の生活道路や通学道路の整備なので必要な事業である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：渡辺泰二
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 地域間の平準化を図りながら、緊急性等、整備効果のある路線整備を実施する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	道整備交付金事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			08	02	03	02		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 交通基盤の充実						市民協働	行政主体
	[1] 道路・交通						担当課係等	道路建設課
1 広域的な道路体系の確立								工務係
事業期間	期間限定複数年度（平成26年度～平成29年度）							

現状把握の部（D0）

【目的】 石岡市・土浦市に至る広域的幹線道路として、歩道整備と併せ改良工事を行い安心安全で快適な交通を確保する。	【関連事業】	
【期待される効果】 ・交通の安全性を高めることで、産業の振興や地域間の交流促進が図れる。また、アクセスの強化により、地域の活性化及び近隣市街地間の連携強化が図れる。	【対象者】 市道利用者	
【全体概要】 広域的な幹線道路として3路線を補助金を活用し整備する。石岡市方面から市道6-0006号線新治地内を通り、角来から市道0110・0109号線穴倉地内を経て、土浦市で整備するI級42号線から国道354号を横断しおおつ野地区及び土浦協同病院へ至る広域幹線道路を整備する。	【特記事項】 ○道整備交付金事業（国補助率50%）	
【平成25年度 事業内容】 路線用地測量 道路改良設計	【平成26年度 事業内容】 道路用地取得 物件等補償	【平成27年度 事業内容】 道路改良工事 道路用地取得 物件等補償

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度						
財源	国庫支出金	0	30,000	84,750						
	県支出金	0	0	0						
	自主財源	25,053	21,794	88,638						
歳入計（千円）		25,053	51,794	173,388						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	13 委託料	25,053	13,295	3,888						
	15 工事請負費	0	0	133,500						
	17 公有財産購入費	0	21,831	23,500						
	22 補償、補填及び賠償金	0	16,668	12,500						
歳出計（千円）（A）		25,053	51,794	173,388						
（参考）		当初予算額	0	当初予算額	78,500	伸び率(%)	決	234.7	予	120.8
職員人工数		2.60	2.50	1.50						
職員人件費（B）		20,956	19,283	11,925						
総事業費（A）＋（B）		46,009	71,077	185,313						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	整備延長	%	目標	0.00	0.00	760.00
	工事施工延長		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	整備率	%	目標	0.00	0.00	100.00
	整備済延長／計画延長		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 目的との整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 石岡市・土浦市に至る広域的幹線道路として歩道整備と併せ改良工事を行うことにより、安心安全で快適な交通が整備できる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助事業の補助内定率が低下しているため、整備事業費の取得には限界がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 広域的幹線道路のアクセス強化を行うことで、地域の活性化、産業の振興、地域間の交流等に必要不可欠である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 広域的幹線道路の整備であるため、上記のとおり妥当である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 近隣市町村と連携した広域的幹線道路の整備であり、事業費及び人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 上記のとおり広域的幹線道路の整備であるため、広範囲の住民が利用できるため公平性は確保される。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	近隣市町村との連携を図りながら、効率的な事業効果の促進を行っていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：寺田茂孝 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 石岡市～土浦市（おおつ野地区：土浦協同病院）への広域幹線道路であり、地域の活性化や近隣市との連携強化に不可欠な事業である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：渡辺泰二 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 一次評価を遵守すること。		